

あま市 人権に関する 市民意識調査

報告書概要版



1 調査の目的

本市では、「第2次あま市人権尊重のまちづくり行動計画（令和4年度から令和13年度まで）」に基づき、人権尊重のまちづくりに取り組んでいます。

このたび、本計画が中間年を迎えるにあたり、これまでの施策の効果の検証を行うとともに、今後の取り組みをより一層充実させるための参考とすることを目的として、本調査を実施しました。

2 調査対象

あま市在住の18歳以上の3,000人を無作為抽出

3 調査期間

令和7年11月4日（火）～令和7年11月25日（火）

4 調査方法

郵送配布、郵送・WEB併用回収

5 有効回答数

1,221件（40.7%）

6 調査結果の表示方法

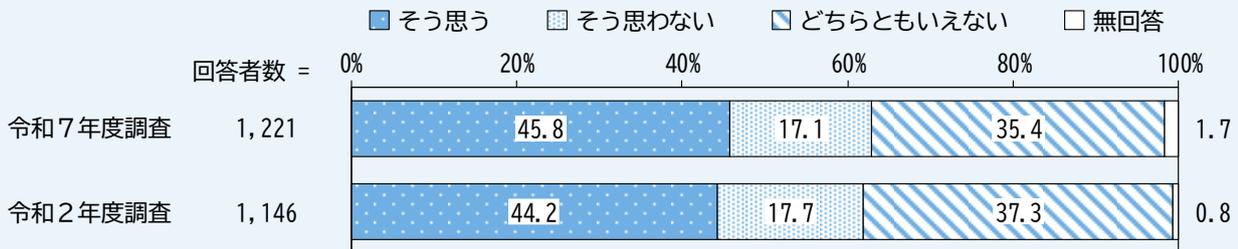
回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

人権意識について

Q

今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。(〇印1つ)

「そう思う」の割合が45.8%、「そう思わない」の割合が17.1%、「どちらともいえない」の割合が35.4%となっています。

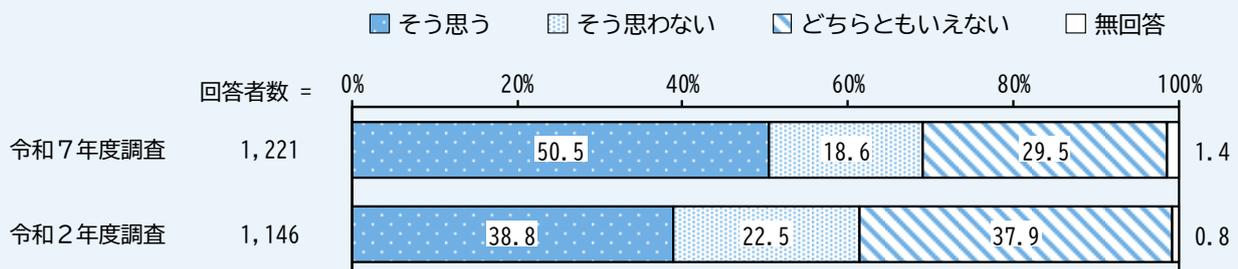


Q

国民(市民)一人ひとりの人権意識は、以前(概ね10年前)に比べて高くなっていると思いますか。(〇印1つ)

「そう思う」の割合が50.5%、「そう思わない」の割合が18.6%、「どちらともいえない」の割合が29.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。一方、「どちらともいえない」の割合が減少しています。

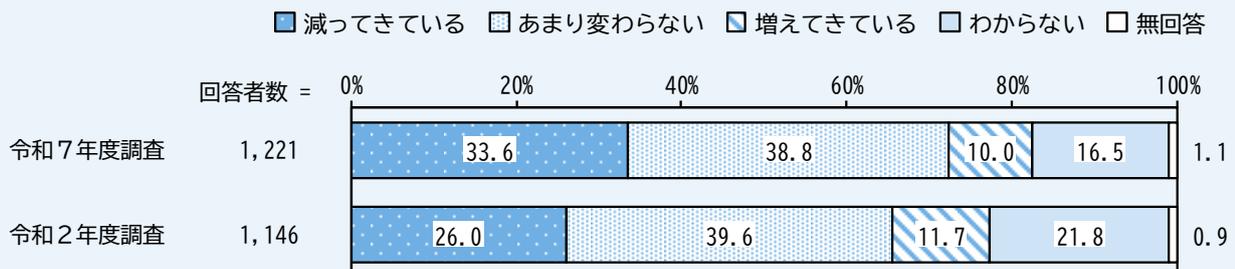


Q

日本社会における人権侵害や差別は、以前(概ね10年前)に比べて減ってきていると思いますか。(〇印1つ)

「減ってきている」の割合が33.6%、「あまり変わらない」の割合が38.8%、「増えてきている」の割合が10.0%となっています。

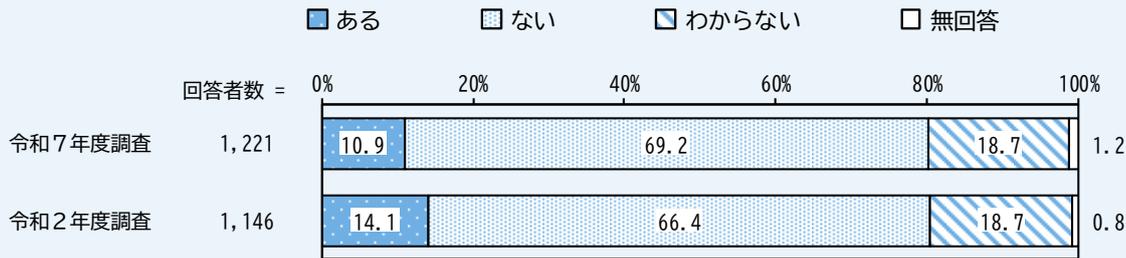
令和2年度調査と比較すると、「減ってきている」の割合が増加しています。





あなたは、この10年程の間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。
(○印1つ)

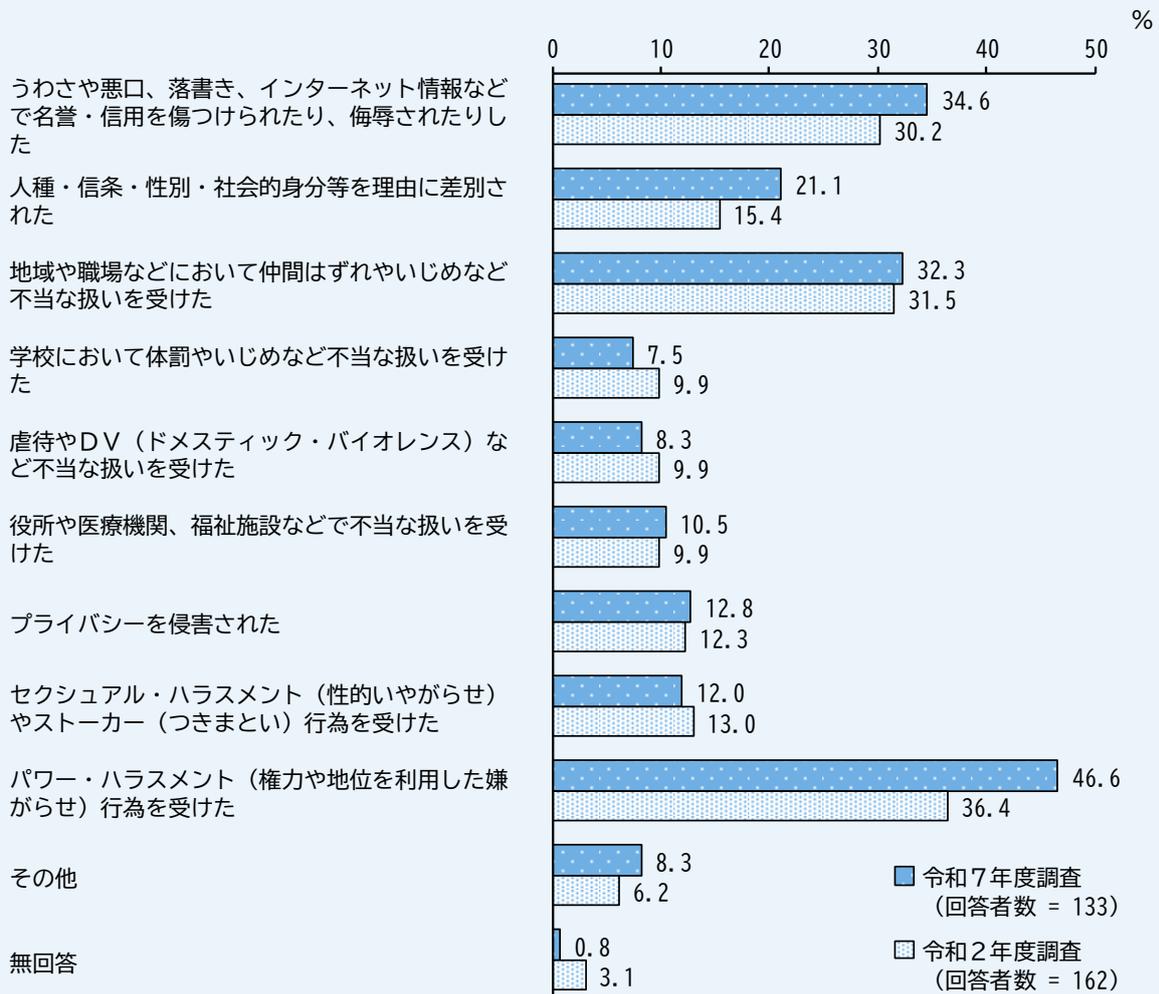
「ある」の割合が10.9%、「ない」の割合が69.2%となっています。



自分の人権を侵害されたと思ったのは、どのような場合でしたか。(○印いくつでも)

「パワー・ハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）行為を受けた」の割合が46.6%と最も高く、次いで「うわさや悪口、落書き、インターネット情報などで名誉・信用を傷つけられたり、侮辱されたりした」の割合が34.6%、「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」の割合が32.3%となっています。

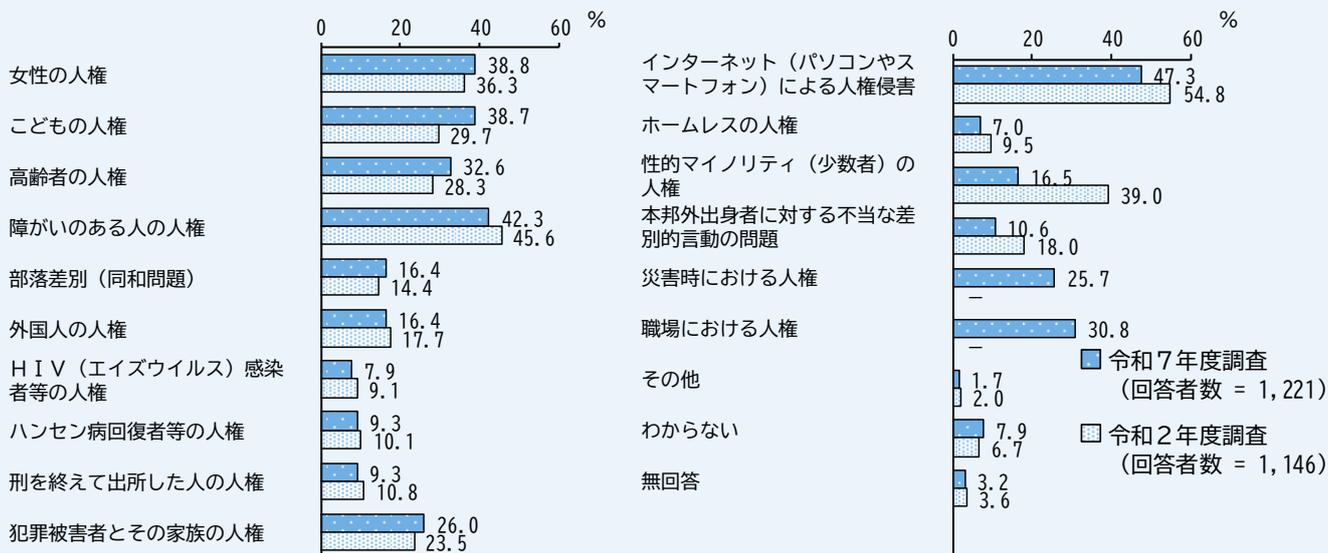
令和2年度調査と比較すると、「人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」「パワー・ハラスメント（権力や地位を利用した嫌がらせ）行為を受けた」の割合が増加しています。





日本の社会における人権にかかわる問題として、重要な問題は、どれだと思いますか。 (○印いくつでも)

「インターネット（パソコンやスマートフォン）による人権侵害」の割合が 47.3%と最も高く、次いで「障がいのある人の人権」の割合が 42.3%、「女性の人権」の割合が 38.8%となっています。令和2年度調査と比較すると、「子どもの人権」の割合が増加しています。一方、「インターネット（パソコンやスマートフォン）による人権侵害」「性的マイノリティ（少数者）の人権」「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の問題」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「災害時における人権」、「職場における人権」がありませんでした。

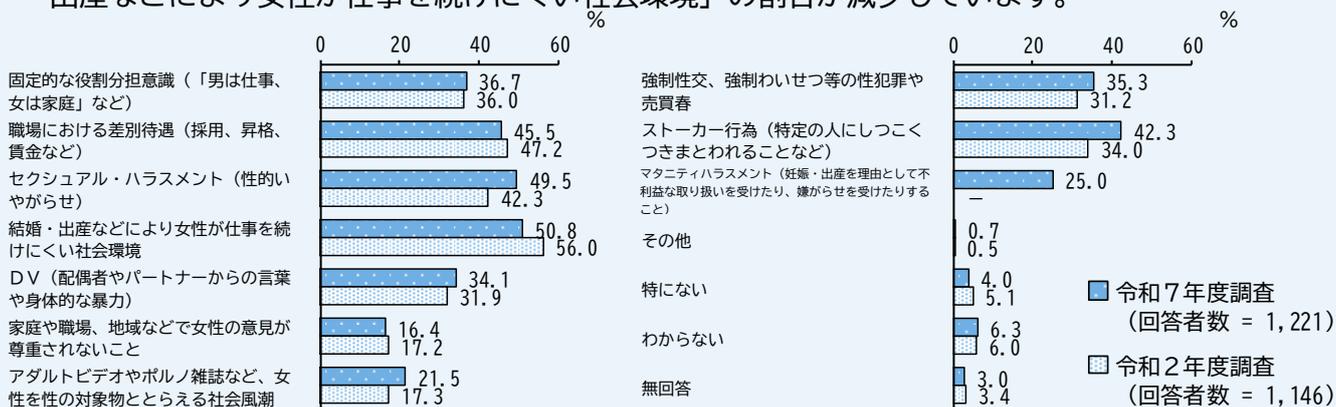
女性の人権について



女性に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(○印いくつでも)

「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」の割合が 49.5%、「職場における差別待遇（採用、昇格、賃金など）」の割合が 45.5%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）」「ストーカー行為（特定の人にしつこくつきまとわれることなど）」の割合が増加しています。一方、「結婚・出産などにより女性が仕事を続けにくい社会環境」の割合が減少しています。



※令和2年度調査では、「マタニティハラスメント（妊娠・出産を理由として不利益な取り扱いを受けたり、嫌がらせを受けたりすること）」がありませんでした。

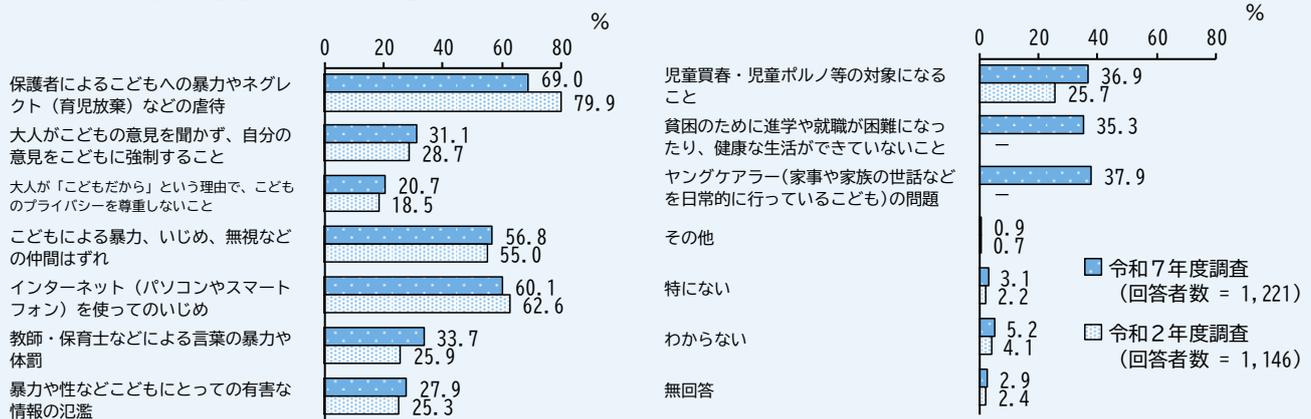
こどもの人権について

Q

こどもに関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「保護者によるこどもへの暴力やネグレクト（育児放棄）などの虐待」の割合が 69.0%と最も高く、次いで「インターネット（パソコンやスマートフォン）を使ってのいじめ」の割合が 60.1%、「こどもによる暴力、いじめ、無視などの仲間はずれ」の割合が 56.8%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「教師・保育士などによる言葉の暴力や体罰」「児童買春・児童ポルノ等の対象になること」の割合が増加しています。



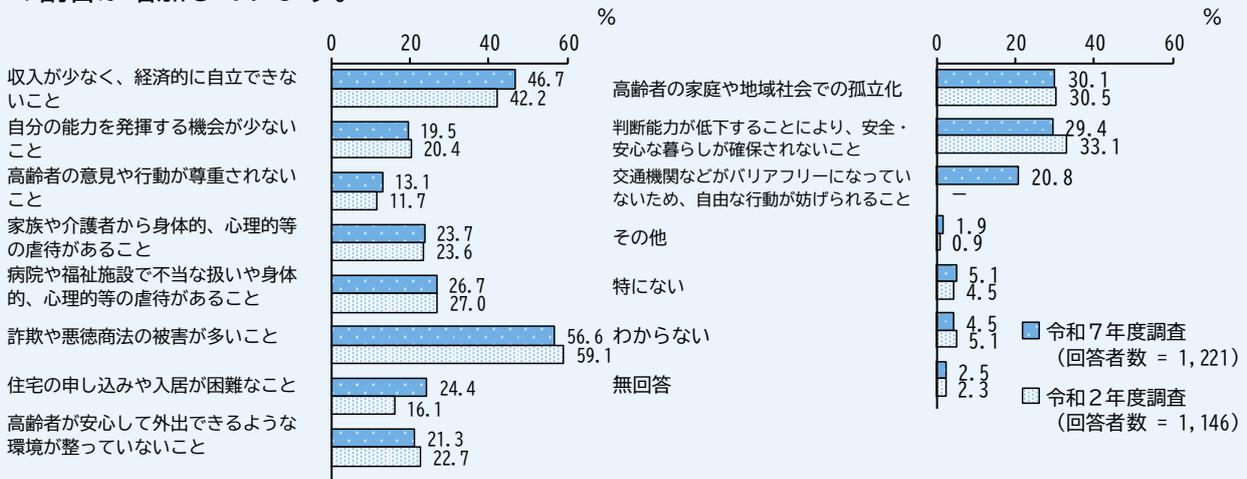
※令和2年度調査では、「貧困のために進学や就職が困難になったり、健康な生活ができていないこと」、「ヤングケアラー（家事や家族の世話などを日常的に行っているこども）の問題」がありませんでした。

高齢者の人権について

Q

高齢者に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「詐欺や悪徳商法の被害が多いこと」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「収入が少なく、経済的に自立できないこと」の割合が 46.7%、「高齢者の家庭や地域社会での孤立化」の割合が 30.1%となっています。令和2年度調査と比較すると、「住宅の申し込みや入居が困難なこと」の割合が増加しています。



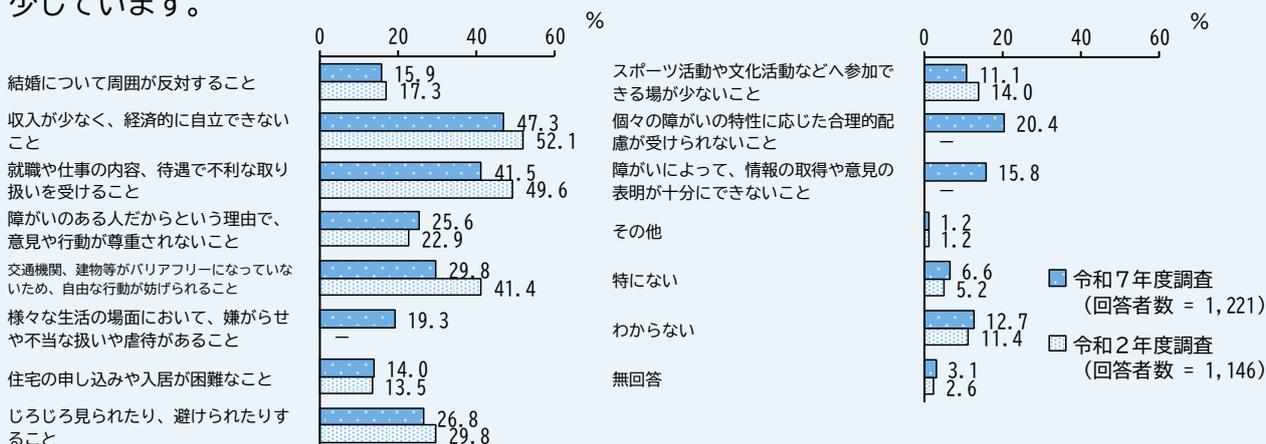
※令和2年度調査では、「交通機関などがバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」がありませんでした。

障がいのある人の人権について

障がいのある人に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「収入が少なく、経済的に自立できないこと」の割合が47.3%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」の割合が41.5%、「交通機関、建物等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」の割合が29.8%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」「交通機関、建物等がバリアフリーになっていないため、自由な行動が妨げられること」の割合が減少しています。



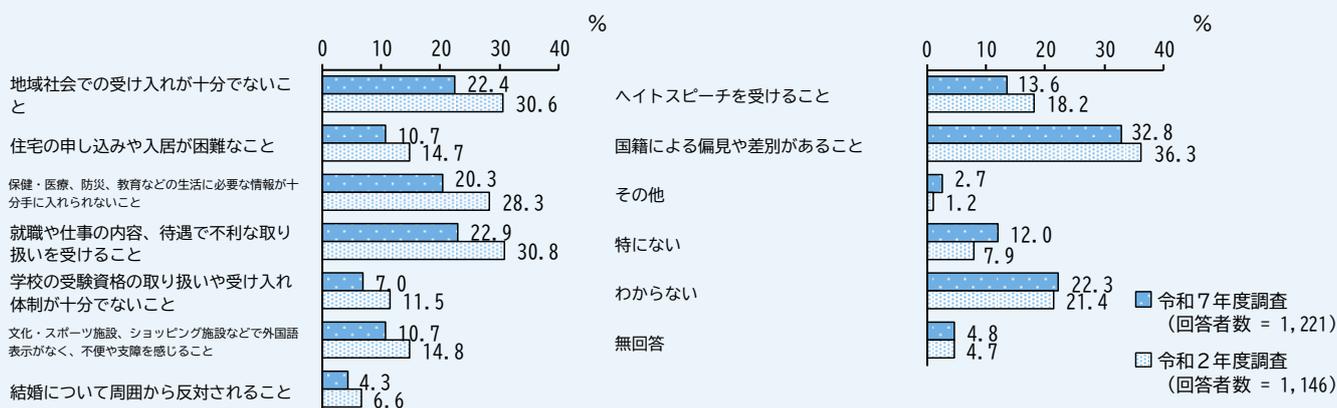
※令和2年度調査では、「様々な生活の場面において、嫌がらせや不当な扱いや虐待があること」、「個々の障がいの特性に応じた合理的配慮が受けられないこと」、「障がいによって、情報の取得や意見の表明が十分にできないこと」がありませんでした。

外国人の人権について

日本に居住している外国人に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「国籍による偏見や差別があること」の割合が32.8%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」の割合が22.9%、「地域社会での受け入れが十分でないこと」の割合が22.4%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「地域社会での受け入れが十分でないこと」「保健・医療、防災、教育などの生活に必要な情報が十分手に入れないこと」「就職や仕事の内容、待遇で不利な取り扱いを受けること」の割合が減少しています。

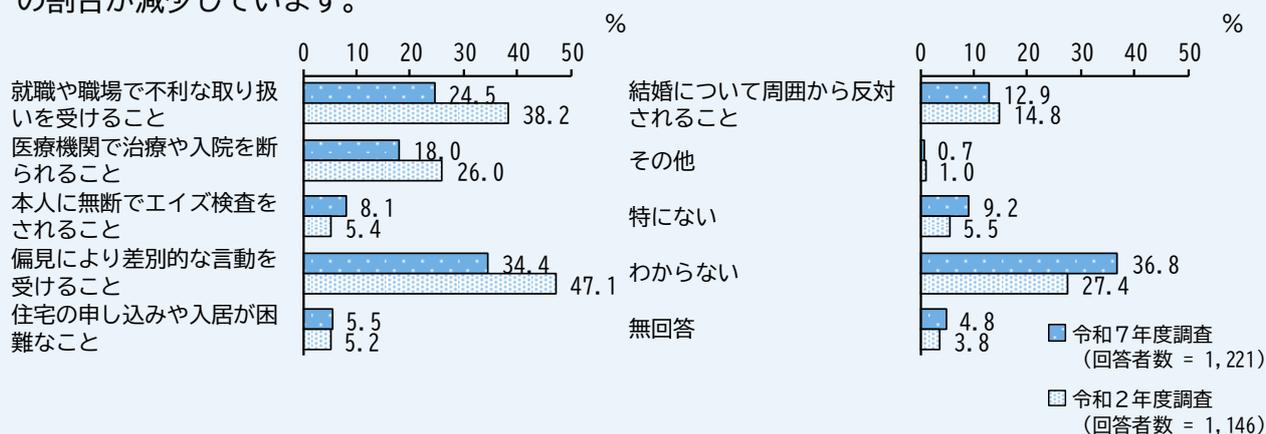


HIV（エイズウイルス）感染者等の人権について

Q

HIV感染者等に関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（〇印いくつでも）

「偏見により差別的な言動を受けること」の割合が34.4%と最も高く、次いで「就職や職場で不利な取り扱いを受けること」の割合が24.5%、「医療機関で治療や入院を断られること」の割合が18.0%となっています。令和2年度調査と比較すると、「就職や職場で不利な取り扱いを受けること」「医療機関で治療や入院を断られること」「偏見により差別的な言動を受けること」の割合が減少しています。

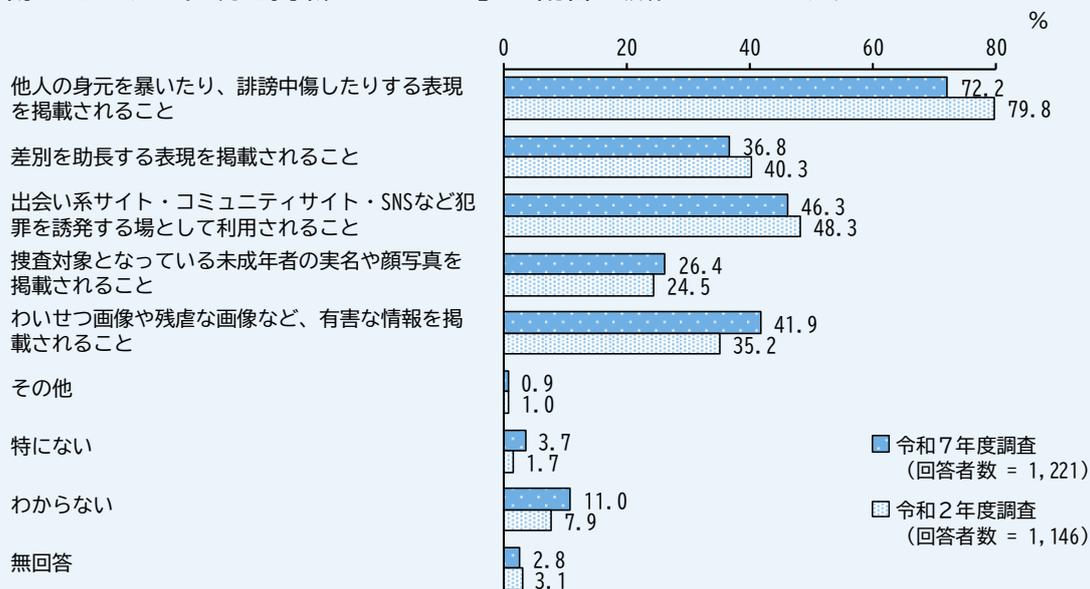


インターネットによる人権侵害について

Q

インターネットによる人権侵害の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（〇印いくつでも）

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷したりする表現を掲載されること」の割合が72.2%と最も高く、次いで「出会い系サイト・コミュニティサイト・SNSなど犯罪を誘発する場として利用されること」の割合が46.3%、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載されること」の割合が41.9%となっています。令和2年度調査と比較すると、「わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載されること」の割合が増加しています。一方、「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷したりする表現を掲載されること」の割合が減少しています。

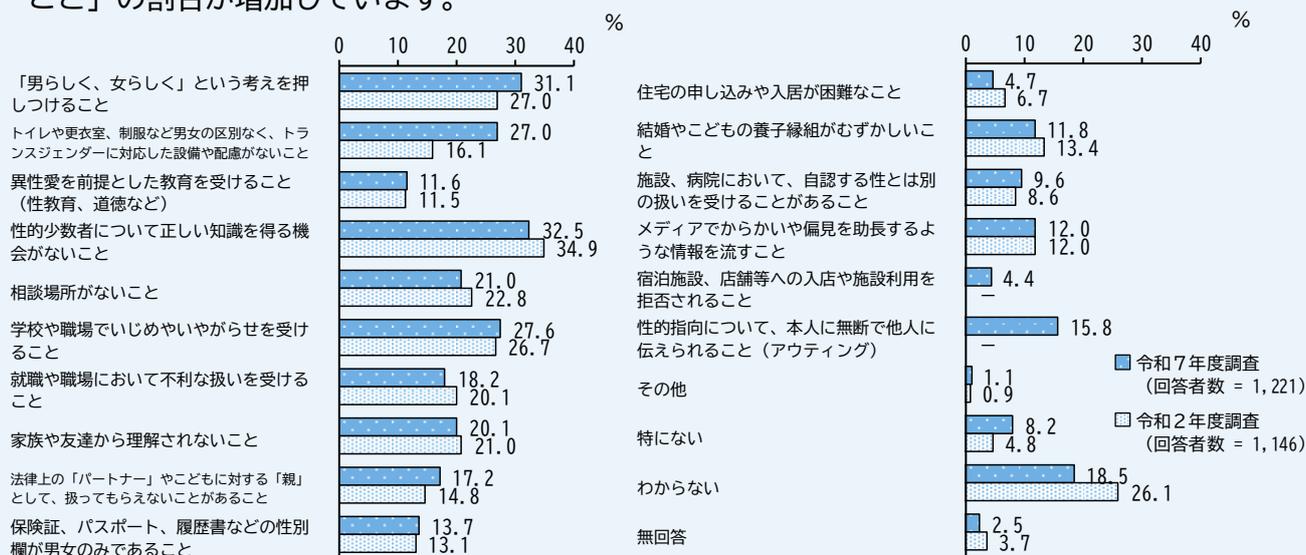


性的マイノリティ（少数者）の人権について

Q

性的マイノリティに関する人権上の問題として、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（〇印いくつでも）

「性的少数者について正しい知識を得る機会がないこと」の割合が 32.5%と最も高く、次いで「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること」の割合が 31.1%、「学校や職場でいじめやいやがらせを受けること」の割合が 27.6%となっています。令和2年度調査と比較すると、「トイレや更衣室、制服など男女の区別なく、トランスジェンダーに対応した設備や配慮がないこと」の割合が増加しています。



※令和2年度調査では、「宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること」、「性的指向について、本人に無断で他人に伝えられること（アウティング）」がありませんでした。

身元調査について

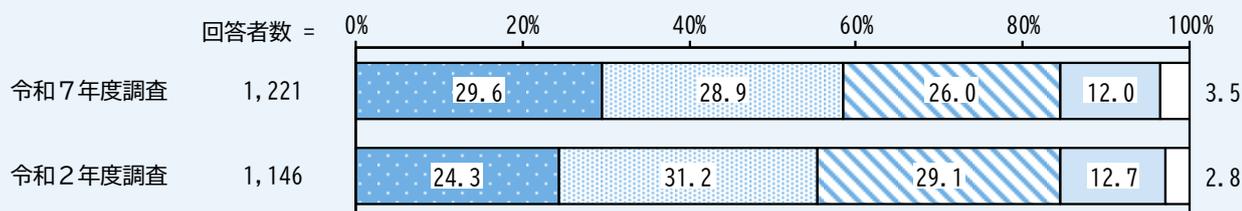
Q

結婚にあたり家柄や家族状況を調べること（聞き合わせ）について、あなたはどのように思いますか。（〇印1つ）

「当然だと思う」の割合が 29.6%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」の割合が 28.9%、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」の割合が 26.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「当然だと思う」の割合が増加しています。

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答





企業が採用選考のときに身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。(〇印1つ)

「当然だと思う」の割合が37.7%、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う」の割合が22.3%、「まちがっているから、なくしていかなければならないと思う」の割合が28.3%となっています。

- 当然だと思う
- おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
- まちがっているから、なくしていかなければならないと思う
- その他
- 無回答

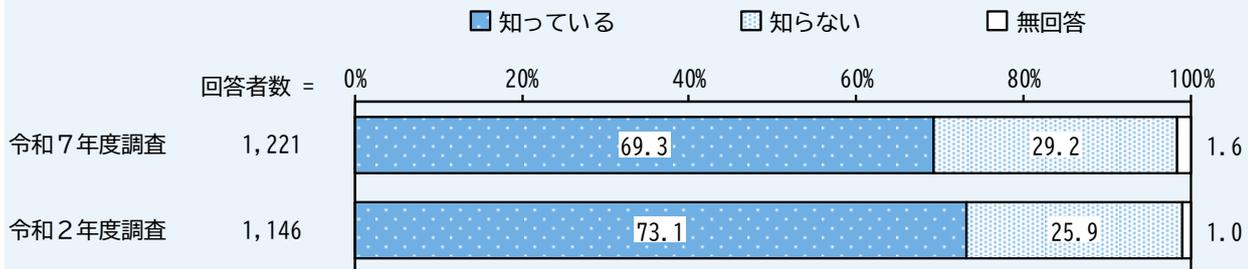


部落差別（同和問題）について



あなたは、日本の社会に「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「部落差別」、「部落問題」、「同和問題」といわれる問題があることを知っていますか。(〇印1つ)

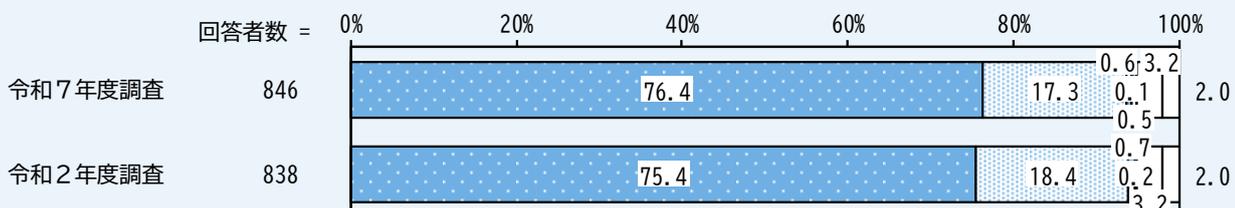
「知っている」の割合が69.3%、「知らない」の割合が29.2%となっています。



もし、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人々が、同和地区出身の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。(〇印1つ)

「これまでと同じように親しくつきあう」の割合が76.4%と最も高く、次いで「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」の割合が17.3%となっています。

- これまでと同じように親しくつきあう
- 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく
- つきあいは、やめてしまう
- なんとかして、近所から出ていってもらうようにしむける
- 自分の方が住居をかえる
- その他
- 無回答

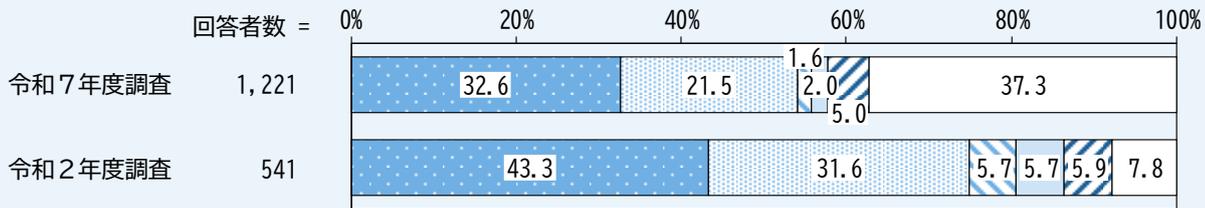




あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。(〇印1つ)

「親が口をだすべきことではないので、こどもの意志を尊重する」の割合が 32.6%と最も高く、次いで「親としては反対するが、こどもの意志が強ければしかたがない」の割合が 21.5%となっています。令和2年度調査と比較すると、「親が口をだすべきことではないので、こどもの意志を尊重する」「親としては反対するが、こどもの意志が強ければしかたがない」の割合が減少しています。

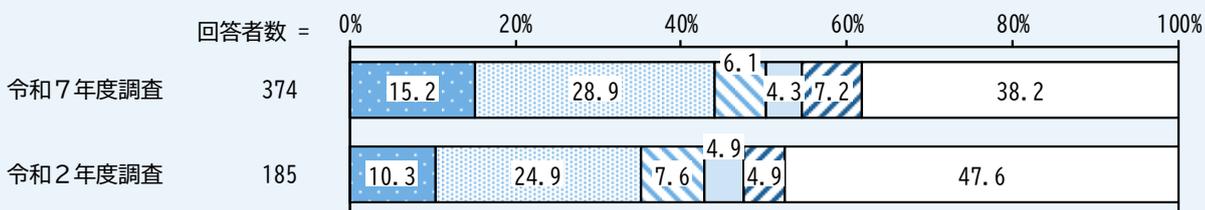
- 親が口をだすべきことではないので、こどもの意志を尊重する
- 親としては反対するが、こどもの意志が強ければしかたがない
- 家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない
- 絶対に結婚を認めない
- その他
- 無回答



あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、家族や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。(〇印1つ)

「家族を説得した上で、自分の意志を貫いて結婚する」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「自分の意志を貫いて結婚する」の割合が 15.2%となっています。

- 自分の意志を貫いて結婚する
- 家族を説得した上で、自分の意志を貫いて結婚する
- 家族や親戚が反対したら、結婚しない
- 絶対に結婚しない
- その他
- 無回答



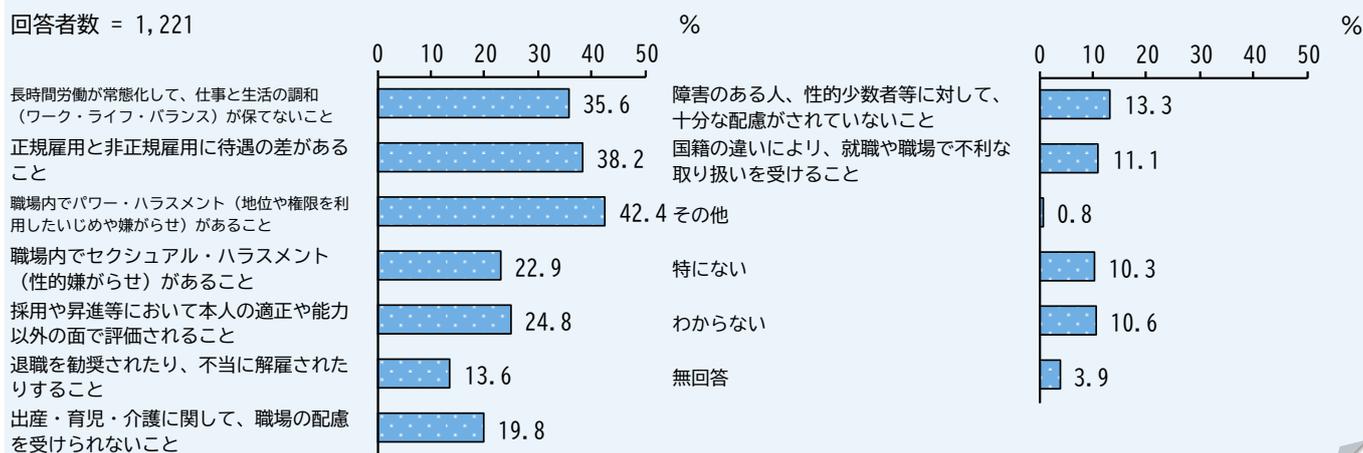
職場における人権について

Q

職場における人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「職場内でパワー・ハラスメント（地位や権限を利用したいじめや嫌がらせ）があること」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「正規雇用と非正規雇用に待遇の差があること」の割合が 38.2%、「長時間労働が常態化して、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が保てないこと」の割合が 35.6%となっています。

回答者数 = 1,221



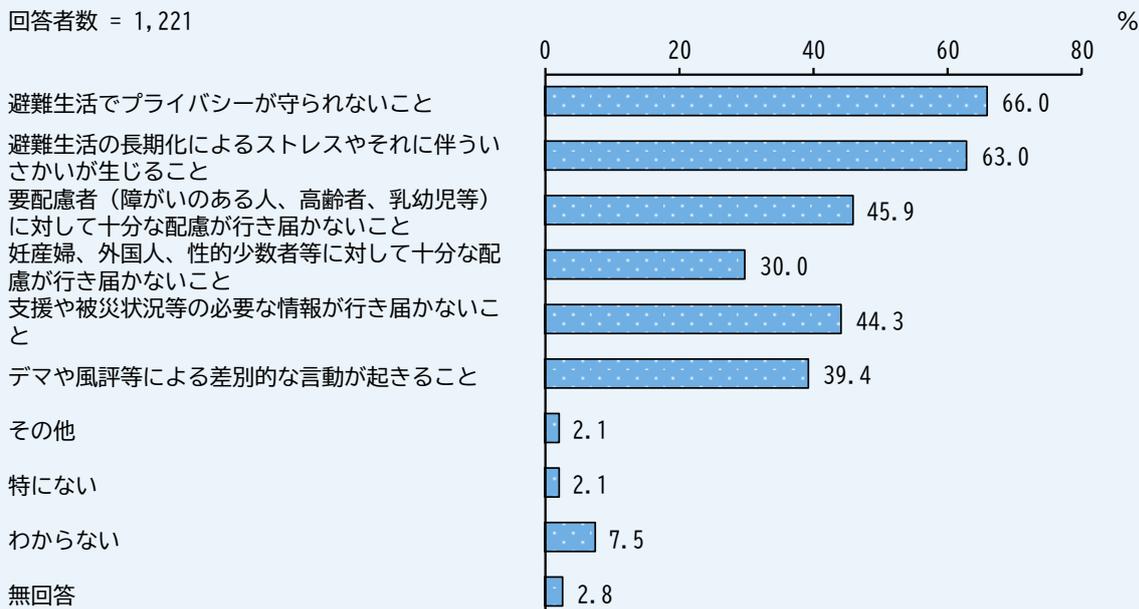
災害時における人権について

Q

地震や台風等の災害が起きた場合に、人権上特に問題となるのはどのようなことだと思いますか。(〇印いくつでも)

「避難生活でプライバシーが守られないこと」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「避難生活の長期化によるストレスやそれに伴ういさかいが生じること」の割合が 63.0%、「要配慮者（障がいのある人、高齢者、乳幼児等）に対して十分な配慮が行き届かないこと」の割合が 45.9%となっています。

回答者数 = 1,221

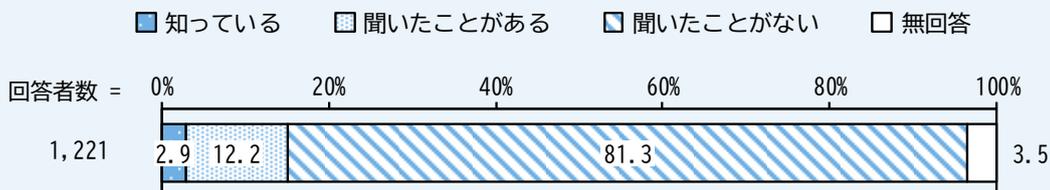


複合差別について

Q

「複合差別」「交差性差別」という言葉を知っていますか。(○印1つ)

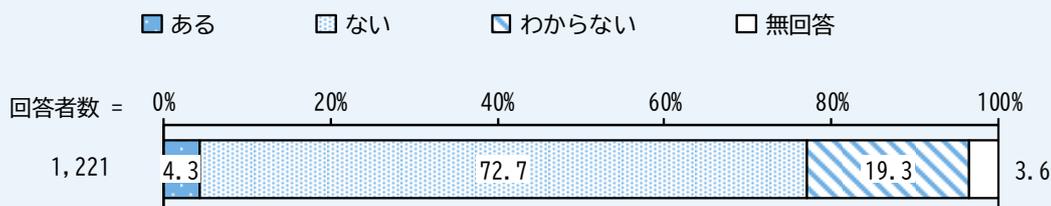
「知っている」の割合が2.9%、「聞いたことがある」の割合が12.2%、「聞いたことがない」の割合が81.3%となっています。



Q

性別、人種、国籍、年齢、性的指向・性自認、障がい、宗教など、複数の理由が組合さって差別を受けたと感じたことがありますか。(○印1つ)

「ある」の割合が4.3%、「ない」の割合が72.7%となっています。



調査報告書の閲覧について

概要版よりも詳しい「報告書」は、あま市公式ウェブサイトでご覧いただけます。



あま市 市民生活部 人権推進課 令和8年2月

〒497-8602 愛知県あま市七宝町沖之島深坪1番地

TEL 052-444-0398 FAX 052-444-1074

あま市公式ウェブサイト <https://www.city.ama.aichi.jp/>